

2022年度 実施事業実施報告書

1

生産性向上・合理化推進事業 [公益事業1]

本事業では「ものづくりの現場力をいかに強化するか」を主眼に、生産性の向上、品質・コストの改善において不可欠な実務知識や実践ノウハウを習得する場として、さまざまな切り口からセミナーや研修を開催した。

1-1 生産管理実務研修

概要	売れるものを売れる時期に売れるだけつくるとというのが企業の命題。そのために必要な生産管理手法（生産計画、工程管理、在庫管理、原価管理など）について学ぶものとした。	
実施内容	「生産管理」、「原価管理」、「外注品のQCD管理」、「在庫の現品管理」など	
	開催件数	83回（うちオンライン開催32回）

1-2 品質管理実務研修

概要	品質は企業の信頼や競争力を左右する重要なテーマである。不良品の発生を抑え、また、発生しても外に出さない仕組みづくりが不可欠であり、そのために必要な技術・手法を学ぶものとした。	
実施内容	「QC7つ道具」、「検査業務の見直し」、「作業標準書の作成」、「FMEA/FTA」など	
	開催件数	85回（うちオンライン開催32回）

1-3 現場改善実務研修

概要	人の動き、作業の手待ち、設備のチョコ停など、現場に潜在するムダを徹底的に排除し、生産性を高めることで製造原価を下げる。実践に活かすさまざまな改善手法を学ぶものとした。	
実施内容	「5S活動」、「段取り改善」、「ムダ取り」、「見える化」、「改善提案」など	
	開催件数	57回（うちオンライン開催19回）

1-4 工場管理実務研修

概要	工場の管理・改善に必要な実務テーマを相互に関連づけ、実務者やリーダークラス、管理者までのスキルアップ研修。幅広い知識を複合的・体系的に学ぶことで、実務力の向上を図った。	
実施内容	「製造現場の部下指導」、「安全衛生活動の進め方」、「ヒューマンエラー対策」など	
	開催件数	63回（うちオンライン開催27回）

1-5 製造・技術系人材育成研修

概要	製造現場やその間接業務、あるいは技術部門に携わる方を対象とし、業務の進め方やマネジメント、部下の育成や教育の仕方など、幅広いテーマで開催した。	
実施内容	「品質管理マネージャー研修」、「設計部門のマネジメントスキル」、「製造現場の鉄則」など	
	開催件数	43回（うちオンライン開催14回）

2

技術強化・環境対策推進事業 [公益事業2]

本事業では、企業の技術力向上を目的として、設計・開発業務から図面をもとに製品・部品を形づくり加工技術の領域、円滑なものづくりを支える生産技術、および環境対応技術にいたるまで、さまざまなテーマを設定して研修を開催し、技術系人材の育成を図った。

2-1 工業技術セミナー

概要	機械や電気など生産技術に関する知識、金属や樹脂材料に関する知識、切削や溶接をはじめとする金属加工の知識など、あらゆる工業製品の製造に関わる技術テーマを網羅的に取りあげた。	
実施内容	「機械加工技術」、「金属加工技術」、「プラスチック材料」、「表面処理」など	
	開催件数	91回（うちオンライン開催29回）

2-2 環境技術セミナー

概要	企業の社会的責任として求められる環境負荷低減や温暖化防止への取り組み方を解説。あわせて知っておかなければならない環境関連の法規制についても取りあげた。	
実施内容	「ISO14001内部環境監査員研修」、「RoHS/REACH」、「環境法規制」、「排水処理」など	
	開催件数	11回（うちオンライン開催2回）

2-3 設計実務研修

概要	設計は品質やコストを決定づけるため、それを担う技術者のスキルアップは欠かせない。また、図面はものづくりの共通言語であるので、基本スキルを習得するため、設計・製図に関してさまざまな研修を開催した。	
実施内容	「機械設計技術研修」、「強度設計」、「自己検図」、「図面の読み方/描き方」など	
	開催件数	85回（うちオンライン開催30回）

2-4 技能開発訓練

概要	知識修得だけでなく実際の現場での技能を身につける研修を開催。電気回路や空気圧技術の実機を模した実習キットを用い、現場作業者のレベルアップを図った。	
実施内容	「電気の基礎」、「シーケンス制御」、「ラズベリーパイを使ったIoTツール製作」など	
	開催件数	20回

2-5 環境関連資格取得促進講座

概要	国家資格の取得を目指す方のための試験対策講座。環境関連資格に特化し、公害防止管理者の試験対策講座を開催した。	
実施内容	「水質関係第1種 公害防止管理者試験対策講座」	
	開催件数	7回

3

経営強化・労務対策推進事業 [公益事業3]

国内外の経営環境が依然として厳しいなかで企業が生き残りを図るためには、守りの戦術として財務面での経営基盤の強化や人事制度の整備を進める一方、攻めの戦術として営業力の拡充やグローバル市場の開拓にもいっそうの注力が求められる。こうした観点から、本事業では、現下の難局に立ち向かう取り組みを後押しし、必要な知識・情報を提供することで人材育成を支援するため、各種セミナー・研修を実施した。

3-1 人事管理実務研修

概要	労働関係法令の理解を促し、各種手続き業務をはじめ、従業員の採用や人事考課、賃金、処遇など、人事労務に関するテーマを全般的に取りあげた。	
実施内容	「労働時間管理」、「労務トラブル対策」、「就業規則」、「社会保険手続」など	
	開催件数	33回（うちオンライン開催13回）

3-2 営業強化実務研修

概要	基本的な営業マナーや商談・交渉スキルといったすべての営業社員に必要な能力、管理職として営業組織を率いるマネジメントスキルなど、それぞれの立場に応じた実践力を習得する研修を開催した。	
実施内容	「営業社員のための技術知識」、「商談・販促ツール」、「与信管理」、「オンライン商談」など	
	開催件数	59回（うちオンライン開催26回）

3-3 国際ビジネス実務研修

概要	事業のグローバル展開に必須の知識・ノウハウを解説。貿易業務や海外調達に携わる方を対象としたテーマでセミナーを開催した。	
実施内容	「輸出入通関手続」、「グローバル調達」など	
	開催件数	5回（うちオンライン開催1回）

3-4 階層別能力開発研修

概要	経営目標の達成に向けた各自の責任・役割の自覚を促すため、各階層に求められる実務知識・基本行動を整理する。立場に応じた職責を全うするための要諦を演習やグループ討議を通じて指導した。	
実施内容	「部長研修」、「課長研修」、「係長研修」、「主任研修」、「若手リーダー研修」など	
	開催件数	63回（うちオンライン開催13回）

3-5 業務・職務実践力向上研修

概要	労働生産性の向上は直接部門だけの問題ではなく、今後は間接部門でも取り組むべき課題である。総務部門や経理部門など、ホワイトカラー向けの実務研修を開催した。	
実施内容	「間接部門の5S」、「スピードアップ仕事術」、「プレゼンテーション」など	
	開催件数	91回（うちオンライン開催31回）

3-6 経営管理実務研修		
概要	経営管理機能の強化を目指して、経営者・経営幹部・管理スタッフを対象に、具体的な実務課題を取りあげた研修を開催した。	
実施内容	「決算書の読み方」、「経理実務レベルアップ」、「契約トラブル防止」、「特許の実務知識」など	
	開催件数	58回（うちオンライン開催23回）

4 経営交流・技術交流推進事業 [公益事業4]

異業種・異分野の多彩な企業、かつ規模の大小を問わずさまざまな企業が集うのは、当協会ならではの特色である。その相互理解を促し、そこから新たなビジネスの芽を育むことも産業団体としての使命であると考え、講演会ならびに研究会を開催した。

4-1 経営革新講演会		
概要	経済的環境の変化が激しい昨今、それに即応した経営革新を行い、新たな事業活動の促進が必要となる。経営革新のヒントや知識・情報を提供するフォーラム・大会行事を開催した。	
実施内容	「第一線営業マン大会」、「工場長大会」、「現場リーダー大会」、「経営セミナー」、「人材活性化フォーラム」	
	開催件数	5回

5 経営支援・会員交流推進事業

当協会は約1,300社からなる会員組織を有し、大企業から小規模企業まで、また機械、金属、電機、化学、食品、あるいは卸売業といったように、規模や業種の異なる多様な事業所が参画していることが大きな特色である。こうした会員事業所間の有機的な連携と協調を促進するため、経営支援および会員交流に関わる事業を積極的に展開した。

5-1 大阪府工業技術大学講座		(後援/大阪府)
概要	1年間にわたる技術者育成研修。次代の技術力を担う若手・中堅技術者を対象に、機械系の工学基礎理論から応用技術知識までの修得、さらに高度な先端技術への理解を深めることを目的として、講義、実習、見学を行った。就業と研修の両立のため、講義は夜間に実施。大学の機械系学部準じた基礎・専門科目をじっくり学ぶとともに、旋盤・溶接・CADなどの実技科目、実際のものづくり現場に触れる見学科目を組み合わせた。今年度は、より実学指向を目指して講義内容を見直すとともに、企業の実務者が講師を務める特別講義科目では、最近のトピックテーマに再編。また、見学研修の訪問先再選定を行うなどプログラムの充実を図り、第62期として実施した。	
実施内容	座学:「材料力学」、「金属材料」、「生産加工技術」、「機械計測」など28科目 実習:「NC旋盤」、「油空圧」、「溶接」、「製図」、「CAD」など8科目中2科目を選択受講 見学:ダイキン工業㈱、(株)西島製作所、(株)東研サーモテック など8工場	
	開催期間	4月～2023年3月

5-2 新入社員教育講座		
概要	新入社員に社会人としての自覚を促すとともに、働くうえで必要な基本行動・知識を修得させる総合基礎教育のほか、職種別の導入教育やビジネスマナー研修を実施。さらに、機械金属・プラスチックメーカーに的を絞った専門知識を学ばせる研修、規律や礼儀を体得させる禅寺合宿研修など、多様なニーズに合わせたカリキュラムを提供した。	
実施内容	「総合基礎教育」、「製造社員」、「営業基礎」、「技術系基礎」、「ビジネスマナー」、「材料の知識」、「加工の知識」、「図面の読み方」、「品質管理」、「禅寺合宿研修」など	
	開催件数	36回（うちオンライン開催13回）

5-3 経営力強化研究会

概要	<p>新たな市場領域の開拓、異分野でのビジネスチャンスの獲得など、事業の新展開につながるヒントを得るため、以下に挙げるようなさまざまな研究会を開催、個々の企業ではなかなか得られない情報に触れる機会を提供した。</p>
実施内容	<p>「BtoB営業 売上アップ研究会」（オンライン） 「売上を上げるために必要なこと」について、様々な切り口から考える研究会。今回はとくに「コロナ禍での営業」を基調に営業部門の革新を目指し、マーケティングの進め方、新規顧客の開拓、既存顧客の深耕といったテーマを取り、各回個別の事例に関して具体的な方策を学びとった。</p>
	<p>開催期間 5月～10月</p>
	<p>「最新自動車テクノロジー研究会」（ハイブリッド形式） 自動車業界のトレンドである「電動化」「自動運転」「コネクテッドカー」「軽量化」といった技術革新の潮流は従来の産業構造を大きく変えるインパクトがある。こうした変化の現状と今後の展望について情報を収集する場として、自動車メーカーや大手部品メーカーによる講演を実施した。</p>
	<p>開催期間 6月～11月</p>
	<p>「工場総務研究会」（ハイブリッド形式） 工場の総務部門においては、製造設備の維持管理、作業環境の整備、近隣への騒音振動対策など、幅広い対応が必要であり、本社の総務部門とは業務内容が大きく異なる。そこで、この研究会では、工場総務が必要な知識について、企業実務者が具体的な事例を紹介するとともに、参加者間で情報交換を行うことで、実務に役立てていただいた。</p>
	<p>開催期間 6月～2023年1月</p>
	<p>「知的財産研究会」（ハイブリッド形式） 企業における法務や知的財産担当者、研究・開発部門スタッフを対象に全10回の研究会を開催。運営にあたって大阪工業大学知的財産学部と連携し、これからの知財保護・活用戦略を掘り下げて考える。テーマは、昨今関心の高い特許出願と秘匿主義の使い分け、オープンイノベーション、グローバル知財戦略などを取りあげた。</p>
	<p>開催期間 6月～2023年3月</p>
	<p>「プロダクトデザイン研究会」（ハイブリッド形式） 製品開発の現場において重要性を増しつつあるプロダクトデザイン。本研究会は製品設計・製品企画・開発部門の方を対象として、魅力ある製品デザインについて学ぶ場である。新製品開発などに活用できる工業デザインの基本や手法を、実例をもとに情報提供した。</p>
	<p>開催期間 7月～12月</p>
	<p>「経営実践研究会」（集合型） 経営に関する悩みは、人・もの・金それぞれ多岐にわたり、尽きることはない。この研究会では、若手経営者や後継経営者を対象に、毎回異なる切り口から自社の経営を見つめ直す機会を提供し、経営について実践的に考える場とした。</p>
	<p>開催期間 7月～2023年2月</p>
	<p>「設計プロセス革新研究会」（ハイブリッド形式） 昨今の製品開発サイクルの高速化に伴い、設計・開発のスピードは重要性を増している。そのために必要な“設計業務の効率化”の進め方について、設計部門の管理職から中堅クラスを対象に、具体的な事例を交えつつ設計プロセスの改革手法を学ぶ機会を提供した。</p>
	<p>開催期間 7月～2023年2月</p>
<p>「RPA導入事例研究会」（集合型） ホワイトカラーの生産性をいかに引き上げるかに関心が集まるなか、事務作業の効率化を図る手段として注目されるRPA（Robotic Process Automation）。RPAで何ができるのか、導入前に検討することは何か、さまざまな情報を提供した。</p>	
<p>開催期間 8月～11月</p>	
<p>「新素材研究会」（集合型） 各種金属や樹脂の分野での技術開発はまさに日進月歩であり、その動向をキャッチアップし素材に関する知見を深めたいというニーズは高い。そこで、新素材を活かした製品開発のための情報収集の場として開催。さまざまな事例紹介により、先端情報と課題解決のヒントを提供した。</p>	
<p>開催期間 10月～12月</p>	

<p>「次世代の工場 最新技術研究会」（集合型）</p> <p>ものづくりは、世界的に大きな変革の時を迎えている。新しい生産方式が登場し、オンデマンド生産、パーソナライズ化、スマートファクトリー化などといったキーワードで語られている。本研究会では、次世代の工場をテーマに、生産現場のIT化・IoT化、ロボット活用などの事例を紹介した。</p>	
開催期間	10月～2023年3月
<p>「AI（人工知能）研究会」（ハイブリッド形式）</p> <p>新たなサービスやビジネスの創出、製造現場の労働力確保、付加価値生産性の向上、熟練者の技能の継承といった、さまざまな課題に対し、AI（人工知能）の実用化による解決に大きな期待が寄せられている。AIで何が変わり、何ができるのかという事例を幅広く紹介することで、工場はもとより企業全体でのAI活用に向けたヒントを提供した。</p>	
開催期間	11月～2023年3月

5-4 現場力強化研究会

概要	<p>日本が世界に誇れる分野であるものづくりをさらに磨きあげるには、現場の知恵と工夫による改善にさらに注力しつつ、最新技術を追う必要がある。常に求められる変化と革新に対応できるよう、ユニークかつ豊富な事例と実践知識を学ぶ場として研究会を開催した。</p>	
実施内容	<p>「工場経営研究会」（集合型）</p> <p>ものづくり企業の経営幹部・工場責任者が一同に会し、ディスカッションや情報交換により相互研鑽を図った。テーマは、生産管理や改善手法など工場に不可欠な実務知識から、財務・会計、人事労務、人材育成まで幅広く網羅している。将来にわたって事業を継続させていくための先導者として、経営感覚を身につけるとともに、経営の視点から工場全体を統括・マネジメントできる力を高めた。</p>	
	開催期間	4月～2023年3月
	<p>「生産支援ロボット導入研究会」（ハイブリッド形式）</p> <p>危険作業や重労働の作業改善ツールとして、労働人口減少に対応するため、生産現場での生産支援ロボットの活用が年々増加している。AI搭載の協働ロボットや無人搬送ロボット、ピッキングロボットなど、実際に活用している企業の事例を中心に、そのメリットや導入にあたって留意すべき点などをテーマに研究会を開催した。</p>	
	開催期間	9月～2023年3月
	<p>「品質検査効率化研究会」（ハイブリッド形式）</p> <p>製造現場に欠かせない品質検査。コストダウンや品質向上実現のためには、品質検査業務をより効率化することは必須と言える。本研究会では、検査の無駄の削減、さらなる生産性向上のための効率的な品質検査事例や、それを実現するための情報を提供した。</p>	
	開催期間	9月～2023年2月
	<p>「最新切削加工技術研究会」（オンライン）</p> <p>高精度、高精密、高効率を追う最近の切削加工技術、あるいは難削材の加工について理解を深める研究会をオンライン形式で開催。工作機械メーカー、工具メーカーのほか大学の研究者などのゲストスピーカーを招き最新情報を収集した。</p>	
	開催期間	10月～2023年2月
<p>「簡易自動化研究会」（集合型）</p> <p>最先端技術の採用ではなく現場の地道な工夫・改善に着目。お金をかけずに現場の知恵を結集し、手軽でかつ大きな効果を生む簡易自動化を取りあげた。重力やてこの原理、ぜんまいや滑車などのからくり機構と、モータやセンサといった動力や簡単な制御機器を活用して絶大な効果をあげた具体的な事例を紹介し、工場の体質強化に寄与した。</p>		
開催期間	10月～2023年3月	

5-5 展示商談会

概要	<p>会員事業所と大手メーカーとをつなぐマッチング事業として、会員事業所が持つ技術・製品を直接アピールする「新技術・新工法展示商談会」。</p> <p>今年度は、トヨタ自動車㈱（愛知県豊田市）、㈱オティックス（愛知県西尾市）で実施した。</p>
開催件数	2回

5-6 オンデマンド研修講座

概要	事前に録画した専門性の高い動画コンテンツを提供する研修。いつでも、どこからでも協会サイトにアクセスして研修動画を視聴することが可能であり、テーマを何度も見返し、繰り返し復習することが可能である。セミナー受講が難しい環境や、すきま時間を活用して研修受講したい方などの多様な研修ニーズに応えた。	
	開催件数	4コース

5-7 経営指導と情報提供

概要	会員事業所からの経営上、技術上の相談に応え、情報提供や専門家の紹介を行ったほか、社内研修の要望に対しては、ニーズに合ったカリキュラムの編成から講師派遣までをサポート。従業員の自己啓発・自主活動に対しては、通信教育講座および研修用DVD教材の貸し出し等により対応した。	
	社内研修の支援(講師派遣)	計 29 回実施
	通信教育講座	257 コース開催
	無料セミナー	3 コース開催

5-8 経営者・経営幹部交流会

概要	若手経営者、後継者どうしの交流・研鑽の場として「朝活」を開催した。	
	開催件数	6回

5-9 機関誌商工振興刊行

概要	会員企業の情報を発信することを目指し、創業 70 年以上の会員企業を紹介する「関西企業ヒストリア」、経営者へのインタビュー記事「会員企業訪問」や「私が大切にしている言葉」「社長 Recommend」。協会創立以来の商工振興をひもとして時代の変遷を垣間見る「商工振興アーカイブス」といった協会ならではの記事を掲載。また「新しい時代のものづくり」「情報セキュリティ」「マナー&コミュニケーション」「大阪の偉人列伝」をテーマに連載企画記事も掲載した。(毎月 1 日発行 全 12 冊)	
----	---	--

5-10 優良従業員表彰

概要	会員事業所における従業員の勤労意識増進を図るため、1962 年より毎年実施。永年勤続かつ他の模範であるとして事業主から推薦を受けた者を選考し、会長名による表彰状の授与、ならびに祝賀会を行った。(112 事業所から推薦された 208 名が受賞)	
	開催日	2022 年 11 月 28 日

5-11 会員交流と懇親会

概要	会員交流と懇親会の場として「ゴルフコンペ」を、また、賀詞交換の場として「新春年賀交歓会」を開催した。	
----	--	--

5-12 会員名簿刊行

概要	会員事業所の紹介と会員の相互交流・融合化の一層の促進を図ることを目的として、所在地、従業員数、事業内容などの現状調査を行い、会員名簿を刊行した。	
----	--	--